

ベトナム情報レポート（2023年8月31日）

ベトナムビジネスサポートデスク  
（株式会社NCネットワーク）

【2023年上半期のベトナム経済指標】

ベトナム統計総局による2023年上半期（1月～6月）の経済指標が発表されました。GDP成長率は前年同期比3.72%で、2011年以降の同時期と比較すると、コロナ禍にあった2020年の1.74%に次ぐ低い成長率でした。特に世界的な不況の影響を受けた部門は工業・建設で、成長率は0.44%と2011年以降の同時期で最低値となりました。その他の部門の成長率は、農林水産3.14%、旅行6.33%、卸売・小売8.49%、物流7.18%、金融・銀行・保険7.13%、宿泊・飲食15.14%となり、政府が推進した国内消費刺激策と旅行の促進・PRが功を奏し、サービス業の伸びが目立つ結果となりました。

2023年上半期の消費者物価指数（CPI）の平均上昇率は前年同期比3.29%、コアインフレ率は4.74%で、徐々に物価上昇が収まってきた印象です。

鉱工業指数（IIP）は前年同期比1.2%減（2022年の同期は9.1%増）でした。各省・市では製造・加工業や電力生産・供給部門の増減幅が大きく、IIPの上昇、下降に作用しました。第3四半期の見通しについて、製造・加工企業の3割が第2四半期より改善する見込み、4割が安定を維持と回答しています。専門家は、製造業を取り巻く環境は依然として厳しいが、2023年後半は前半より活気づくと予想しています。

今年6月20日までの外国直接投資（FDI）について、新規・調整（増資・減資）・出資/株式購入の全形態の投資額は134億米ドルで前年同期比4.3%減でした。

貿易収支について、2023年上半期の輸出総額は1644.5億米ドルで前年同期比12.1%減、輸入総額は1522億米ドルで同18.2%減、122.5億米ドルの貿易黒字となりました。最大の輸出市場は米国（442億米ドル）で、最大の輸入市場は中国（501億米ドル）でした。好調だったのは農林水産物で、EVFTAやUKVFTAを活用したEUへの輸出で付加価値の高い取引が増加しました。一方で、世界的な消費引き締めの影響を受けている縫製、製靴、家具製造などは、依然として厳しい状況が続いています。

ベトナム統計総局の長官は、2023年の年間成長目標である6.5%を達成するためには、下半期の成長率について9.1%を達成する必要があると認識しています。この実現は難しい課題であるが、物価上昇の効果的な抑制や税金、手数料、金利引き下げによる金融政策が生産活動と消費刺激を支えると語りました。2023年のベトナムのGDP成長率（予想）について、複数の国際機関は5.4～5.8%へ下方修正しています。